

エコアクション21 環境経営レポート



(2024年1月～2024年12月)



発行：2025年2月10日



緑造園興業株式会社

目 次

1. 組織の概要	1
(1) 事業所名及び代表者名	
(2) 所在地	
(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先	
(4) 事業内容	
(5) 事業の規模	
(6) 事業年度	
2. 認証・登録の対象範囲	
(1) 登録事業所	
(2) レポート対象期間及び発行日	
(3) 実施体制図	2
(4) 役割・責任・権限	
3. 環境経営方針	3
4. 環境経営目標	4
5. 環境経営計画	5
6. 環境経営目標の実績	6
7. 環境経営計画の取組結果とその評価、並びに次年度の 環境経営目標及び環境経営計画	7
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに 違反、訴訟等の有無	11
9. 代表者による全体評価と見直し・指示	12
10. 具体的取組内容	13

【取組の対象組織・活動の明確化】

取組の対象組織・活動

1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者名

緑造園興業株式会社
代表取締役 植原成典

(2) 所在地

本 社	香川県高松市亀田南町742番地1	TEL：087-899-1528
東讃営業所	香川県木田郡三木町井戸407番地1	TEL：087-899-1128
さぬき営業所	香川県さぬき市長尾東160番地2	TEL：0879-52-5340
資材置場	①香川県木田郡三木町井戸355番地1 ②香川県木田郡三木町井戸404番地1、2、3 ③香川県木田郡三木町井戸406番地1、3、4	

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者	開発部 部長 新川孝雄	
担当者	総務部 課長 山下美和	TEL：087-899-1528

(4) 事業内容

造園工事業	土木工事業	とび・土工事業
石工事業	舗装工事業	水道施設工事業
産業廃棄物収集運搬業許可（自社工事物件のみ） （許可番号 03703131469・有効期限 2026年12月17日）		

(5) 事業の規模

売上高	5億4,512万円	
工事等の件数	540件	
従業員	49名（うちパート14名）	（2024年12月31日時点）

延べ面積

	本社	東讃営業所	さぬき営業所
従業員	28名	20名	1名
延べ床面積	80㎡	305㎡	13㎡
	資材置場-1	資材置場-2	資材置場-3
従業員	無人	無人	無人
敷地面積	843㎡	875㎡	318㎡

(6) 事業年度

1月1日～12月31日

2. 認証・登録の対象範囲（全組織・全活動）

(1) 登録事業所

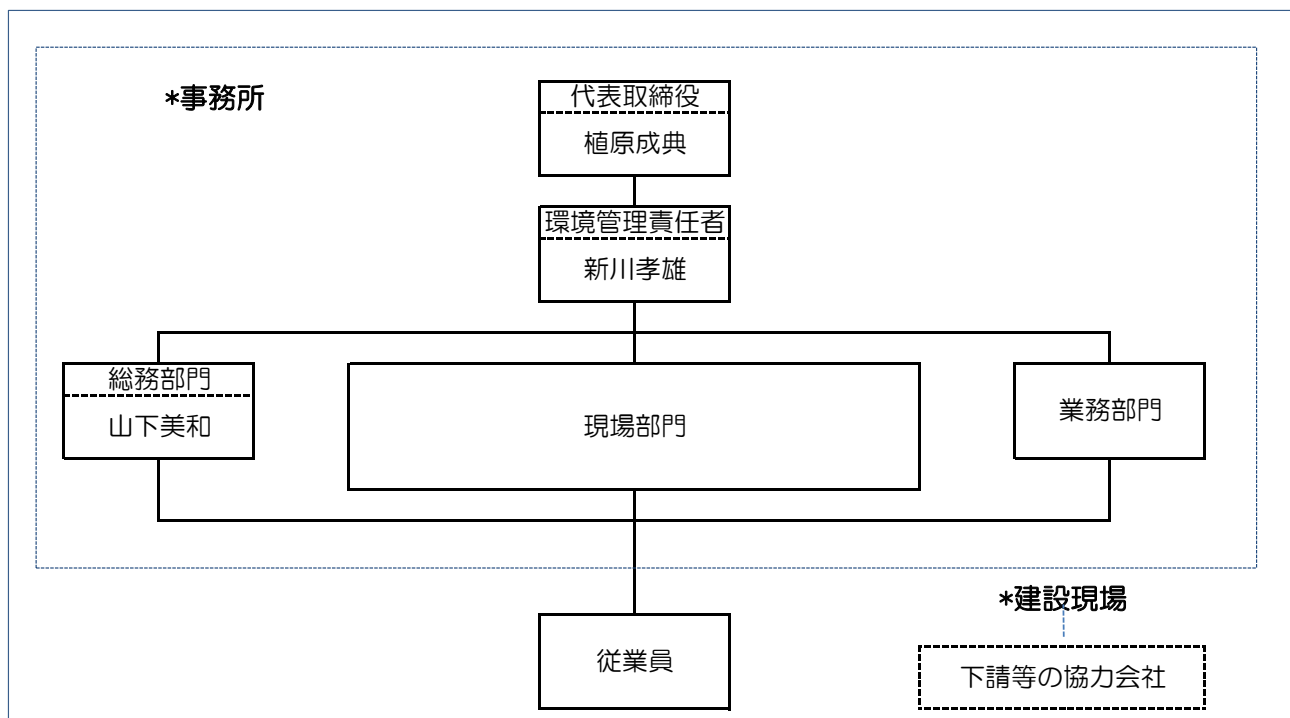
本 社	香川県高松市亀田南町742番地1
東讃営業所	香川県木田郡三木町井戸407番地1
さぬき営業所	香川県さぬき市長尾東160番地2
資材置場	①香川県木田郡三木町井戸355番地1 ②香川県木田郡三木町井戸404番地1、2、3 ③香川県木田郡三木町井戸406番地1、3、4

関連事業所 無

(2) レポートの対象期間

2024年1月1日～2024年12月31日
発行日 2025年2月10日

(3) 実施体制図



(4) 役割・責任・権限

	役割・責任・権限
代表取締役	- 環境経営に関する統括責任 - 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間を準備 - 環境管理責任者を任命 - 環境経営方針の策定、見直し及び全従業員への周知 - 全従業員に対する教育・訓練の実施 - 環境経営目標、環境経営計画書を承認 - 代表者による全体の評価と見直しを実施 - 緊急事態への対応マニュアルの承認 - 環境経営レポートを確認し、承認 - 環境関連法規等取りまとめ表の承認 - 取組に必要な手順書の承認
環境管理責任者	- 環境経営システムの構築、実施、管理 - 環境関連法規等取りまとめ表の作成 - 環境経営目標、環境経営計画書を作成 - 環境経営の取組結果を代表者に報告 - 環境経営レポートの作成 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 - 緊急事態への対応マニュアル作成 - 取組に必要な手順書の作成
部門長	- 環境管理責任者の補佐 - 環境への負荷の自己チェック及び、環境への取り組みの自己チェックの実施 - 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 - 環境経営の実績集計 - 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 - 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	- 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 - 決められたことを守り、自主的、積極的に環境経営活動へ参加

3. 環境経営方針

緑造園興業株式会社 環境経営方針

基本理念

当社は、緑のある美しい豊かな環境を受け継ぎ次代に残していくことを責務と考え、深刻化する地球温暖化問題に自覚を持ち、本業である造園土木業を通じて、環境保全活動に全社一丸となって自主的・積極的に取り組みます。

行動指針

1. 具体的に次の項目に取り組みます。

- ① 二酸化炭素排出量の削減
- ② 廃棄物排出量の削減
- ③ 水使用量の削減
- ④ 化学物質量の適正使用・管理と削減
- ⑤ 環境配慮への取組
- ⑥ 地域社会への貢献

これらについて環境経営目標・環境経営計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

3. 環境経営方針は、全ての従業員に周知し、環境経営レポートを広く一般に公表します。

制定日：2014年7月22日
改訂日：2019年1月27日

代表取締役 植原 成典

4. 環境経営目標

【中・長期目的・目標】

目的	単位	上段：目標値 下段：基準年対比			
		※1 基準	2023年	2024年	2025年
二酸化炭素の削減 ※2	kg-CO2	96,730	96,246 0.5%削減	95,763 1%削減	95,279 1.5%削減
一般廃棄物排出量の削減	kg	440	438 0.5%削減	436 1%削減	433 1.5%削減
産業廃棄物排出量の再資源化 ※3	%	100	100	100	100
水総使用量の削減	m3	276	273 1%削減	270 2%削減	268 3%削減
剪定・除草ゴミの再資源化 ※4	%	100	100	100	100
地域社会への貢献	回	12	12	12	12

※1 2020年～2022年実績の平均値を基準値とした。

※2 電力のCO2発生量については、四国電力の調整後排出係数0.527（kg-CO2/kWh）を使用した。
（四国電力公表2021年度実績に基づく）

※3 産業廃棄物排出量については工事量の変化により、削減目標設定が困難のため、再資源化を目標とする。
当社が選択できる再資源化可能な委託先を100%選択する。

※4 剪定・除草ゴミは、リサイクル業者に委託し再資源化を行う。
化学物質の適正使用量の徹底

【短期目的・目標】

○取組期間 2024年1月 ～ 2024年12月

○全体

目的	単位	※1 基準	目標 2024年度
二酸化炭素の削減 ※2	kg-CO2	96,730	95,763
エネルギー使用量の削減	電気使用量	kWh	13,590 13,454
	ガソリン使用量	L	13,281 13,148
	軽油使用量	L	22,486 22,261
	灯油使用量	L	296 293
一般廃棄物排出量の削減	kg	440	436
産業廃棄物排出量の再資源化 ※3	%	100	100
水総使用量の削減	m3	276	270
剪定・除草ゴミの再資源化 （環境配慮の取組） ※4	%	100	100
地域社会への貢献	回	12	12

○事務所

目的	単位	※1 基準	目標 2024年度
電気使用量の削減	kWh	13,590	13,454
ガソリン使用量の削減	L	3,351	3,317
一般廃棄物排出量の削減	kg	440	436
水総使用量の削減	m3	258	253
地域社会への貢献	回	12	12

○建設現場

目的	単位	※1 基準	目標 2024年度
ガソリン使用量の削減	L	9,930	9,831
軽油使用量の削減	L	22,486	22,261
灯油使用量の削減	L	296	293
産業廃棄物排出量の再資源化 ※3	%	100	100
水総使用量の削減	m3	18	17
剪定・除草ゴミの再資源化 （環境配慮の取組） ※4	%	100	100

5. 環境経営計画

○事務所

○取組期間 2024年1月 ～ 2024年12月

		具体的な取組
二酸化炭素	電気使用量の削減	①冷暖房使用時サーキュレーターや扇風機の併用 ②適正温度の維持
	ガソリン使用量の削減	①タイヤ空気圧の点検 ②余分な荷物を乗せない
廃棄物	一般廃棄物の削減	①両面印刷、裏紙再利用の徹底 ②ミスプリント防止のため事前確認の徹底 ③文書電子化
水使用量	節水	①雨水の利用 ②節水啓発ポスターの掲示
リサイクル	環境・社会貢献	①使用済みインクカートリッジの回収 ②ペットボトルキャップの回収
地域貢献	ボランティア・美化活動	①使用済み切手の回収 ②事務所周辺の清掃活動を実施

○現場

○取組期間 2024年1月 ～ 2024年12月

		具体的な取組
二酸化炭素	ガソリン・軽油の使用量の削減	①タイヤ空気圧の点検 ②重機使用時間短縮化の推進 ③車の乗り合わせ ④機材の電動化
廃棄物	産業廃棄物の削減	①廃棄物の分別の徹底 ②資材の過剰発注の防止
水使用量	節水	①井戸水・雨水の利用 ②節水啓発ポスターの掲示
化学物質	化学物質の適正使用量の徹底	①使用材料の調査を行う ②B T 剤（微生物農薬）等を導入する ③残液のないよう必要量だけ調合する
組織本来の取組	剪定・除草ゴミの再資源化	①剪定・除草ゴミの再資源化の徹底 ②堆肥化、及び堆肥の地域住民への配布を検討

6. 環境経営目標の実績

【短期目的・目標・実績】

○取組期間 2024年1月 ～ 2024年12月

○全体

目的	単位	※1 基準	目標 2024年度	実績 2024年度	目標対比 (%)	評価
二酸化炭素の削減 ※2	kg-CO2	96,730	95,763	106,794	12%増加	×
エネルギー使用量の削減	電気使用量	kWh	13,590	13,454	14%増加	×
	ガソリン使用量	L	13,281	13,148	17%増加	×
	軽油使用量	L	22,486	22,261	9%増加	×
	灯油使用量	L	296	293	11%増加	×
一般廃棄物排出量の削減	kg	440	436	453	4%増加	×
産業廃棄物排出量の再資源化 ※3	%	100	100	100		○
水総使用量の削減	m3	276	270	169	37%削減	○
剪定・除草ゴミの再資源化 (環境配慮の取組) ※4	%	100	100	100		○
地域社会への貢献	回	12	12	12		○

○事務所

目的	単位	※1 基準	目標 2024年度	実績 2024年度	目標対比 (%)	評価
電気使用量の削減	kWh	13,590	13,454	15,375	14%増加	×
ガソリン使用量の削減	L	3,351	3,317	3,620	9%増加	×
一般廃棄物排出量の削減	kg	440	436	453	4%増加	×
水総使用量の削減	m3	258	253	168	34%削減	○
地域社会への貢献	回	12	12	12		○

○建設現場

目的	単位	※1 基準	目標 2024年度	実績 2024年度	目標対比 (%)	評価
ガソリン使用量の削減	kWh	9,930	9,831	11,707	19%増加	×
軽油使用量の削減	L	22,486	22,261	24,157	9%増加	×
灯油使用量の削減	kg	296	293	324	11%増加	×
産業廃棄物排出量の再資源化 ※3	%	100	100	100		○
水総使用量の削減	m3	18	17	1	94%削減	○
剪定・除草ゴミの再資源化 (環境配慮の取組) ※4	%	100	100	100		○

工事量の増加に比例して建設現場のエネルギー使用量が増えたことから、全体的な目標を達成することができなかった。

また、東讃営業所移転に伴う事務所エアコンや照明等の増設が、電気使用量増加の要因の一つとも考える。産業廃棄物、剪定・除草ゴミはリサイクル業者への持ち込みを継続し、再資源化に努めている。

当社が選択できる再資源化可能な委託先を100%選択できたが、廃プラスチックが埋立処分となるため、全体の再資源化率は97.6%にとどまった。

7. 環境経営計画の取組結果とその評価

○事務所

○取組期間 2024年1月 ～ 2024年12月

		具体的な取組	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	評価
二酸化炭素	電気使用量の削減	①冷暖房時にサーキュレーターや扇風機の併用 ②適正温度の維持	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
	ガソリン使用量の削減	①タイヤ空気圧の点検 ②余分な荷物を乗せない	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
廃棄物	一般廃棄物の削減	①両面印刷、裏紙再利用の徹底 ②ミスプリント防止のため事前確認の徹底 ③文書電子化	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
水使用量	節水	①雨水の利用 ②節水啓発ポスターの掲示	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
リサイクル	環境・社会貢献	①使用済みインクカートリッジの回収 ②ペットボトルキャップの回収	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
地域貢献	ボランティア・美化活動	①使用済み切手の回収 ②事務所周辺の清掃活動を実施	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○

○：計画通り実施 △：一部出来なかった ×：来ていない

○評価に対するコメントと次年度の取組内容

目的	評価に対するコメント・次年度の取組
二酸化炭素	具体的な取り組みは計画通り実施できた。 6月の東讃営業所移転に伴いエアコン設置台数が増え電気使用量が増加したが、現場に出ている社員が多い日中は使用していないエリアのエアコンと照明はつけず消費電力量削減に取り組んだ。 新社屋の屋根に二酸化炭素を排出せず発電し、断熱効果もある太陽光パネルを設置（2025年1月より発電開始）。発電した電気は社内で使用できるため、消費電力量の大きな削減が期待できる。 新型低燃費優良車・低排出ガス認定車を1台入替購入し、ガソリン使用量削減（平均燃費15→18km/Lへ）を実現。
廃棄物	具体的な取り組みは計画通り実施できた。 両面印刷、裏紙再利用などは継続しているが、2024年度は公共工事の受注量が増えたことにより、書類作成のためのコピー用紙使用量が増加した。 ノートパソコンを追加購入し、お客様との打合わせに使用することで業務効率化とペーパーレスによるコスト削減に努めた。
水使用量	具体的な取り組みは計画通り実施できた。 新社屋では新型節水タイプトイレを導入し従来に比べ大幅に節水ができたことや、感染予防対策として共有布タオルからペーパータオル使用に切り替えたことで洗濯回数が激減し、水使用量削減につながった。 社員全員の節水意識を高めるため、新たなデザインの節水啓発ポスターを掲示する。
リサイクル	具体的な取り組みは計画通り実施できた。 機密文書リサイクルサービスの継続利用により廃棄ごみとなるシュレッダー処理量が削減され、資源の再利用化が図れている。 引き続き使用済みのインクカートリッジやペットボトルキャップの回収を行い、資源のリサイクル化を徹底する。
地域社会への貢献	具体的な取り組みは計画通り実施できた。 石川県能登半島地震災害への義援金、発展途上国への不要眼鏡や使用済み切手、書き損じはがきの寄付を行った。 地域のクロスカントリー大会に協賛・参加、消防団活動、ボランティア活動、事務所周辺の清掃活動を実施した。 また、高校生対象の企業説明会や連携授業に造園業者として参加した。 次年度も社会をよりよくするための様々な貢献活動に積極的に取り組んでいきたい。

7. 環境経営計画の取組結果とその評価

○現場

○取組期間 2024年1月 ～ 2024年12月

		具体的な取組	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	評価
二酸化炭素	ガソリン・軽油の使用量の削減	①タイヤ空気圧の点検 ②重機使用時間短縮化の推進 ③車の乗り合わせ ④機材の電動化	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
廃棄物	産業廃棄物の削減	①廃棄物の分別の徹底 ②資材の過剰発注の防止	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
水使用量	節水	①井戸水・雨水の利用 ②節水啓発ポスターの掲示	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
化学物質	化学物質の適正使用量の徹底	①使用材料の調査を行う ②BT剤（微生物農薬）等を導入する ③残液のないよう必要量だけ調合する	○ － ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ － ○	○ ○ ○
組織本来の取組	剪定・除草ゴミの再資源化	①剪定・除草ゴミの再資源化の徹底 ②堆肥化、及び堆肥の地域住民への配布を検討	○ －	○ －	○ －	○ －	○ －

○：計画通り実施 △：一部出来なかった ×：来ていない －：該当なし

○評価に対するコメントと次年度の取組内容

目的	評価に対するコメント・次年度の取組
二酸化炭素	具体的な取り組みは計画通り実施できた。 11月は「エコドライブ推進月間」として、社員全員で取り組んだ。 新たに排気ガスを出さない充電式バッテリー搭載の工具を導入。軽量・低振動のため作業軽減にもつながった。 今後も継続しながら更なる消費燃料削減に努める。
廃棄物	具体的な取り組みは計画通り実施できた。 新社屋に強固で保管しやすい新しいゴミ箱を設置し、分別がわかりやすいよう表示を工夫した。 社員全員で担当するゴミ当番制を取り入れ、1人1人が意識して廃棄物分別に取り組んだ。 引き続き継続し、廃棄物分別や削減に努力する。
水使用量	具体的な取り組みは計画通り実施できた。 2024年は観測史上最も暑い一年となったが、夏季を中心に花壇の水やりは地下水を利用したことで上水の使用量を抑えることができた。 次年度も可能な限り地下水を使用するとともに、日々の節水を心がける。
化学物質	具体的な取り組みは計画通り実施できた。 防除に使用する薬剤は、必要量だけを調合することで残液量を抑えることができた。 また、不要になったものは法令に従い廃棄物処分業者に回収を依頼した。 今後も適切な保管管理の徹底に努める。
剪定・除草 ゴミの 再資源化 (組織本来 の取組)	具体的な取り組みは計画通り実施できた。 今年も引き続きリサイクル業者への持ち込みを継続し、再資源化の徹底に努めた。 堆肥化した芝を再利用するなど、新たな資源の循環化を検討する。

7. 次年度環境経営目標

【中・長期目的・目標】

目的	単位	上段：目標値 下段：基準年対比			
		※1 基準	2023年	2024年	2025年
二酸化炭素の削減 ※2	kg-CO2	96,730	96,246 0.5%削減	95,763 1%削減	95,279 1.5%削減
一般廃棄物排出量の削減	kg	440	438 0.5%削減	436 1%削減	433 1.5%削減
産業廃棄物排出量の再資源化 ※3	%	100	100	100	100
水総使用量の削減	m3	276	273 1%削減	270 2%削減	268 3%削減
剪定・除草ゴミの再資源化 ※4	%	100	100	100	100
地域社会への貢献	回	12	12	12	12

※1 2020年～2022年実績の平均値を基準値とした。

※2 電力のCO2発生量については、四国電力の調整後排出係数0.527（kg-CO2/kWh）を使用した。
（四国電力公表2021年度実績に基づく）

※3 産業廃棄物排出量については工事量の変化により、削減目標設定が困難のため、再資源化を目標とする。
当社が選択できる再資源化可能な委託先を100%選択する。

※4 剪定・除草ゴミは、リサイクル業者に委託し再資源化を行う。
化学物質の適正使用量の徹底

【短期目的・目標】

○取組期間 2025年1月 ～ 2025年12月

○全体

目的	単位	※1 基準	目標 2025年度
二酸化炭素の削減 ※2	kg-CO2	96,730	95,279
エネルギー使用量の削減	電気使用量	kWh	13,590
	ガソリン使用量	L	13,281
	軽油使用量	L	22,486
	灯油使用量	L	296
一般廃棄物排出量の削減	kg	440	433
産業廃棄物排出量の再資源化 ※3	%	100	100
水総使用量の削減	m3	276	268
剪定・除草ゴミの再資源化 （環境配慮の取組） ※4	%	100	100
地域社会への貢献	回	12	12

○事務所

目的	単位	※1 基準	目標 2025年度
電気使用量の削減	kWh	13,590	13,389
ガソリン使用量の削減	L	3,351	3,301
一般廃棄物排出量の削減	kg	440	433
水総使用量の削減	m3	258	251
地域社会への貢献	回	12	12

○建設現場

目的	単位	※1 基準	目標 2025年度
ガソリン使用量の削減	L	9,930	9,781
軽油使用量の削減	L	22,486	22,149
灯油使用量の削減	L	296	292
産業廃棄物排出量の再資源化 ※3	%	100	100
水総使用量の削減	m3	18	17
剪定・除草ゴミの再資源化 （環境配慮の取組） ※4	%	100	100

7. 次年度環境経営計画

○事務所

○取組期間 2025年1月 ～ 2025年12月

		具体的な取組
二酸化炭素	電気使用量の削減	①太陽光発電 ②緑のカーテン実施 ③適正温度の維持
	ガソリン使用量の削減	①タイヤ空気圧の点検 ②エコドライブの実施
廃棄物	一般廃棄物の削減	①両面印刷、裏紙再利用の徹底、機密文書リサイクル利用 ②ミスプリント防止のため事前確認の徹底 ③文書電子化
水使用量	節水	①雨水の利用 ②節水啓発ポスターの掲示
リサイクル	環境・社会貢献	①使用済みインクカートリッジの回収 ②ペットボトルキャップの回収
地域貢献	ボランティア・美化活動	①消防団活動 ②事務所周辺の清掃活動を実施

○現場

○取組期間 2025年1月 ～ 2025年12月

		具体的な取組
二酸化炭素	ガソリン・軽油の使用量の削減	①タイヤ空気圧の点検 ②エコドライブの実施 ③重機使用時間短縮化の推進 ④機材の電動化
廃棄物	産業廃棄物の削減	①廃棄物の分別の徹底 ②資材の過剰発注の防止
水使用量	節水	①井戸水・雨水の利用 ②節水啓発ポスターの掲示
化学物質	化学物質の適正使用量の徹底	①使用材料の調査を行う ②B T 剤（微生物農薬）等の導入 ③残液を出さない必要量だけの薬剤調合
組織本来の取組	剪定・除草ゴミの再資源化	①剪定・除草ゴミの再資源化の徹底 ②堆肥化及び堆肥の地域住民への配布を検討

8. 環境法規制等遵守 チェックの確認及び違反、訴訟等の有無

環境関連法規	要求事項	遵守チェック 結果
廃棄物処理・リサイクル		
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の適正な分別、保管、収集、運搬、処分	遵 守
	産業廃棄物の投棄禁止、焼却禁止	遵 守
	産業廃棄物の委託処理、マニフェストの交付、保管	遵 守
リサイクル法	建設副産物の発生抑制、再利用、再生利用、再資源化努力	遵 守
建設リサイクル法	特定建設資材の分別解体、再資源化の促進、再生資源の使用	遵 守
	対象建設工事の届出に係る事項の説明等	遵 守
	下請負人に対する元請業者の指導	遵 守
自動車リサイクル法	廃自動車の適正処理	遵 守
家電リサイクル法	対象4品目の廃家電の適正処理	遵 守
小型家電リサイクル法	対象28品目の廃家電の適正処理	遵 守
資源有効利用促進法	資源の有効利用の促進	遵 守
大 気 汚 染		
オフロード法	特定特殊自動車使用者の責務、使用の制限	遵 守
フロン排出抑制法	第1種特定製品の適切な設置と簡易点検の実施	遵 守
	フロン類の漏えい時の措置、機器廃棄時のフロン回収	遵 守
大気汚染防止法	排出基準の遵守義務	遵 守
悪臭防止法	規制基準の遵守義務	遵 守
騒 音 ・ 振 動		
騒音規制法	特定建設作業の事前届出、規制基準の遵守	遵 守
振動規制法	特定建設作業の事前届出、規制基準の遵守	遵 守
水 質 汚 濁 （排 水）・土 壌 汚 染		
水質汚濁防止法	排出基準の遵守義務	遵 守
下水道法	公共下水道への排水基準の遵守	遵 守
浄化槽法	浄化槽保守管理、定期検査	遵 守
	浄化槽からの廃棄物の排出	遵 守
PRTR法	第1種指定化学物質の適正管理	遵 守
農薬取締法	農薬の使用者の責務、使用規制	遵 守
そ の 他 関 連 法 令		
消防法（危政令）	火気の使用に関する規制	遵 守
労働安全衛生法	労働災害発生の防止	遵 守
	危険物及び有害物に関する規制	遵 守
	労働者就業に当たっての措置	遵 守
香川県環境基本条例	公害防止等の規制	遵 守
高松市環境基本条例	公害防止等の規制	遵 守

環境関連法規への違反はありません。また、関係当局からの違反等の指摘は過去3年間ありません。

9. 代表者による全体評価と見直し・指示

弊社は、2015年香川県の造園業者として初のエコアクション21の認証を取得、以来今年で10年目となります。この節目の年に本社及び東讃営業所を移転したことで環境は大きく変わり、2024年当初の目標設定値に対しての現時点での数値対比は難しく、一定期間後改めて評価したいと考えています。

しかしながら、新社屋の建築における省エネを重視した設計施工や太陽光発電をはじめとする備品器具導入等を最大限実現したことは、これまでの長きに渡るエコアクションへの取り組みや学習の確かな成果であり、弊社が環境活動に貢献する会社として成長した結果であると自負しているところです。

新たな社屋では、従業員各々が当たり前のように率先してごみの削減や分別を行い、これまで以上に互いにアイデアを出し合い新たな省エネ対策を取り入れる活動が随所にみられ、代表者としても誇らしい限りであります。

現在の環境経営方針及び実施体制の継続とともに、環境経営目標達成に向け、新しい活動を環境経営計画の策定に積極的に取り入れたいと考えています。

これまでの10年、これからの10年、会社にも社員にも地球環境にも大切な時間です。それぞれの更なる成長への期待をもって、エコアクションに取り組んでまいりたいと思います。

2025年1月31日

緑造園興業株式会社

代表取締役 植原 成典

10. 具体的取組内容

●消費電力量と水使用量の削減に向けた取組●

新社屋設備



(太陽光パネル)

発電電力は社内で使用、非常時電源として活用可能



(深い軒)

直射日光を遮り温度上昇を抑制



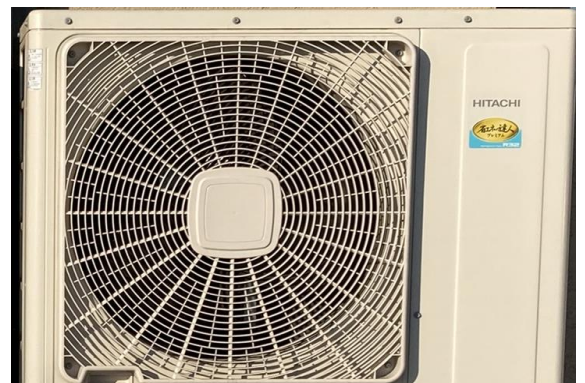
(省エネ建材)

断熱性や防湿性を重視した建築材による木造建築



(業務用エアコン)

省エネ性能に優れた人感センサー付



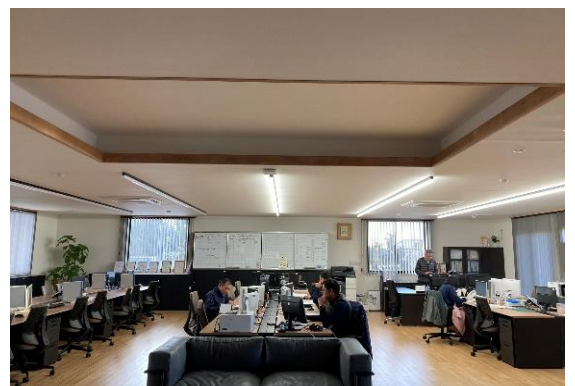
(節水型トイレ・手洗い器)

人感センサーによる消灯、蛇口の閉め忘れ防止



(全照明LED化)

照明点灯箇所の制限、昼休み消灯



●消費燃料の削減に向けた取組●

社用車



高リサイクル性素材使用、排出ガスクリーン化性能付



運転意識向上



11月を「エコドライブ推進月間」参加実施



工具購入



電動・充電式バリカン



安全道具支給



安全と作業効率を兼ねた安全带・地下足袋



●社会貢献に関する取組●

ボランティア活動



石川県能登半島地震災害の復旧・復興の力になればと、社員と会社から義援金を三木町社会福祉会を通じて日本赤十字社へ寄付した。



●地域貢献への取組●

不要眼鏡等寄付



視力の問題を抱える人々や経済的に困っている発展途上国の人々に眼鏡を提供する活動として、社内で不要眼鏡を集め、使用済み切手、書き損じハガキと一緒に長尾ライオンズクラブを通じて寄付した。



高校生企業説明会



地域貢献・次世代人材確保の一環として地元高等学校の企業説明会に2名参加した。当社の事業内容の説明や生徒にとっては身近な存在である卒業生の若手社員から自身の仕事上の体験談を伝えた。



高校との連携授業



近隣の農業学科系高等学校の生徒を対象にした「農業者と高校生との交流・意見交換を行い現場や経営への理解を深める連携授業」に造園業者として今年も参加した。例年以上に意見交換の時間を使い生徒が熱心に話を聞く姿もみられ、造園業に関心を持ってもらう機会となった。



地域情報ホームページ掲載



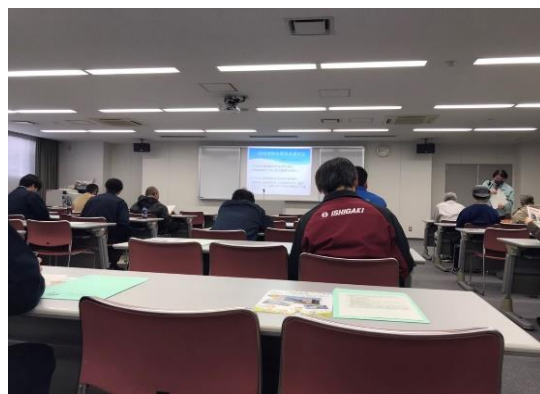
新しい情報発信の場として、香川銀行と高松信用金庫が連携し地域企業の情報発信を支援する「かがわアライアンス地域情報ホームページ」に当社の業務内容や取り組みを紹介した。



廃棄物研修会参加



廃棄物分類や収集運搬上の注意事項を再確認



地域貢献活動・イベントボランティア活動



地域行事への協力として、クロスカントリー大会に参加・協賛した。
また、ボランティア活動、消防団活動、県道沿い美化活動、近隣清掃など地域に根ざした社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。

(クロスカントリー大会協賛・参加)



(公園清掃ボランティア)



(消防団活動)



(社屋周辺美化活動)



(近隣清掃活動)



エコ商品使用



植物由来可塑剤を使用した工事看板

植物由来プラスチック製ゴミ袋 古紙再生ペーパータオル



●訓練・教育への取組●

災害等緊急事態発生時の避難訓練及び火災発生時の消火訓練を実施し、防災意識を高めた。

また、高松市三木消防署係長より消火器の使い方や、危険物保管方法について指導いただき、社員全員で確認した。

（災害時を想定した避難訓練）



（消火訓練）



（消防署による危険物取扱講習）



●健康への取組●

東讃保健福祉事務所講師の方より、健康講話と簡単な体力チェック、骨密度や野菜摂取量などの測定をしていただいた。結果を参考に、自身の生活習慣について振り返り改善するきっかけとなった。

